

統合中学校の名称が決定	2ページ
平成21年の区長さん	4
平成21年の消防団幹部・赤十字奉仕団幹部体制	5
飯山市臨時職員募集	6
iネット飯山のチャンネル構成変更について	9
新幹線アクションプラン案②	10～13

## 来年4月開校予定の統合中学校 校名は「城南、城北中学校」



城北中学校 (現 照丘高校校舎)

城南中学校 (現 第一中学校校舎)

泉台・常盤・戸狩・岡山・東小学校区

飯山・秋津・木島小学校区

### ■校名の選定理由

上杉謙信が築いた「信越最後の砦」として鉄壁の守りを固めていた当市のシンボルの一つとなっている「飯山城」。立地条件が優れ最重要視されていた飯山城のように、中学校も四季の変化に富み新しいまちづくりの発展が望める優れた地域、教育環境下において、豊かな感性とたくましい心と身体を育て、ふるさとの未来をもひらく生徒の育成の場となるよう願いが込められています。

平成22年4月に開校予定の2つの新しい中学校の校名が「城南中学校」「城北中学校」に決定されました。この校名は、昨年市民の皆さんから公募した校名候補の中から、飯山市中学校統合推進委員会(森司朗会長)で協議を重ね決定し、このほど森会長から市に報告されたものです。

飯山市中学校統合推進委員会では、現在、両校の校歌や校章についても検討しており、来年4月の開校に間に合うよう制定していく予定です。市では今後決定に基づき条例の改正等を行うっていく方針です。

お問い合わせ  
子ども課学校教育係  
☎0269-31111 内線361

## 転出・転入手続きの日曜窓口業務を行います

市では、市民の皆さんの転出・転入の届出が増える3月末と4月初めに、平日市役所に来庁できない方が転出・転入の手続きをするための休日窓口を、次のとおり日曜午前中に開設します。

- ◆転入、転出、転居届など住民異動に関する届書の受理
- ◆印鑑登録(新規、亡失、変更)
- ◆児童手当申請の受付
- ◆お持ちいただくもの
- ◆印鑑(認印)
- ◆本人を証明する顔写真付きの公的機関発行の証明書(運転免許証、パスポートなど)
- ◆国民健康保険加入者の方は国民健康保険証

日曜窓口の実施日・実施時間

■開庁日

- ・3月22日(日)
- ・3月29日(日)
- ・4月5日(日)

■開庁時間

いずれも午前8時30分から12時まで

お問い合わせ  
市民環境課市民係  
☎0269-31111 内線151

## より効果的に飯山をアピールする施設に 第5回 人形館建設委員会報告

### 人形館の設計提案競技を実施

人形館の建設にあたり、創作人形の展示を通して効果的に全国に飯山市をアピールしより優れた施設とするため、昨年12月、設計提案競技(設計コンペ)を実施しました。これは、建設委員会が策定した基本構想書並びに基本計画書に沿った設計提案を求めたも

のです。

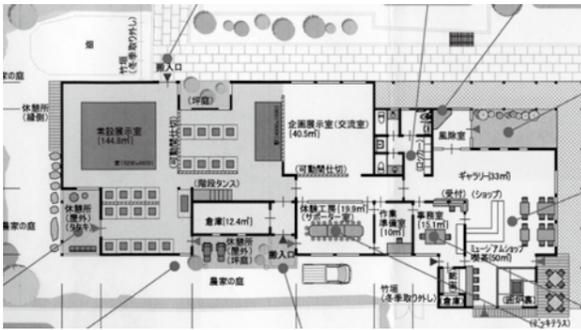
この設計コンペには11社が参加。審査委員会(委員長・足立副市長ほか5名)において、ヒアリング調査を経て審査した結果、(株)KRC(長野市)が最優秀作品に選定されました。

選定理由は、まず雪国の建築をよく理解していることに加え、アプローチ方法・外部空間の捉え方など基本構想を最も良く理解していること、平面計画が少数でも運営しやすい配置となっていることを評価。また、展示については企画展示室と一体となった使用ができ、様々な展示方法が可能で、総合的に最も優れていると判断されました。

最優秀作品を提案した(株)KRCに設計業務を委託し、現在は実施設計に入っています。

### 花フエスタとも連動を

1月8日に行われた建設委員会では、設計コンペで提案された配置図や平面図



⑥最優秀提案書平面図

### 今後の人形館建設スケジュール(予定)

- 実施設計 平成21年2月
- 建築工事の入札 4月
- 建築工事着工 5月
- 建築工事しゅん工 平成22年3月
- 人形館の開館 4月下旬

等について、より具体的に検討が行なわれました。

委員からは「愛宕町通りからの施設外観にもっと誘導の演出がほしい」、「庭には樹木や野菜畑だけではなく、四季折々の花が咲き花フエスタ会場の一部にもなれるような景観になれば」等の提言がありました。今後、これらの意見を基本設計に取り入れ、よりふさわしい施設になるよう建設を進めていく方針です。

### お問い合わせ

管理学習課(飯山市公民館内) ☎0269-33342

### 市長の

## 悠久のふるさとづくり ⑧

飯山市長 石田正人



正月に、帰省した友人と話をしました。その時に、アメリカで発生した百年に一度といわれる金融恐慌で東京も大変な事態になっていることや、貿易で訪れた中国では暴動でも起きるのではないかと心配されるような大変な狂騒となっていた事などを聞きました。またそんな厳しい状況は地方にも広がっており、近くの工場でも派遣社員の打ち切りがされているという話も聞いています。

政府ではこの混乱の中、様々な政策を打ち出し、少しでも国民に安心を与えようと努力をしています。これまで農村を片隅に置いてきた政府の政策が、多少見直されてきた昨今の動きを嬉しく感じます。

農村は国家の大きな支えの一つであると思います。しかし、これまで「水田に麦を作れ、大豆を作れ」と、米価を守るための減反政策が行われてきました。食料が不足している人が世界に多くいる中、消費できない量の米を輸入し不良米として捨ててしまつ、こんな事をしている国は日本以外には無いのではないのでしょうか。最近は大寒に入っても雨が降り続く自然界の変化も見られます。これらの状況も自覚し、国策といえども農業の役割をもつ一度見直すべきではないでしょうか。「今回の金融恐慌が今度は自然界で起きたら人類は終わってしまう」というぐらゐの危機感を持つて国づくりをすすめてほしいと思います。

新幹線開業という百年に一度ともいえる好機を迎える飯山市。おいしい米を作る田圃、そんなふるさととの原風景が残る自然を生かした観光、更に企業を誘致し定着してもらうことができれば、商業・工業がともに発展していくはず。飯山で生まれ育ち、飯山で働き、飯山で家庭を築く、それが当たり前になるような飯山づくりのため、市民の皆さんのご協力をいただきます。更に頑張っていきたいと思っております。